

# 有帆川洪水ハザードマップ



近年、全国各地で大雨による河川の氾濫や土砂災害が頻発しています。完全に災害を防ぐことは難しいですが、日ごろの備えを進めることにより、被害を減らすことは可能です。大雨が降って災害が起きそうなとき、どのようにして自分や家族の命を守るのか、このハザードマップを活用して考えていただく機会となれば幸いです。

山陽小野田市  
令和3年3月発行

**【このハザードマップの使い方】**  
大雨の時に自分や家族の命を守るため…  
①大雨の時に起きる災害について知っておきましょう。 P.1-2  
②いざという時、どう行動するのか考えておきましょう。 P.3-4  
③災害時に得られる情報について確認しましょう。 P.5  
④今できること、日ごろの備えについて一度確認しましょう。 P.6  
最後に、我が家の避難行動計画を書き込んで家族で情報共有しておきましょう。

## わが家の避難行動計画

いざという時のために、災害時の避難ルールづくりをしておきましょう。地域・家族で話し合ったルールを書き込み、みなさんで共有しておきましょう！

●一時集合場所・指定緊急避難場所・指定避難所	
一時集合場所	指定緊急避難場所・指定避難所
①	①
②	②
③	③

●避難経路 避難する時に注意することも書いておきましょう。

●わが家の非常持出袋は… P.6参照  
に置いてあります。

●わが家の備蓄品は… P.6参照  
に置いてあります。

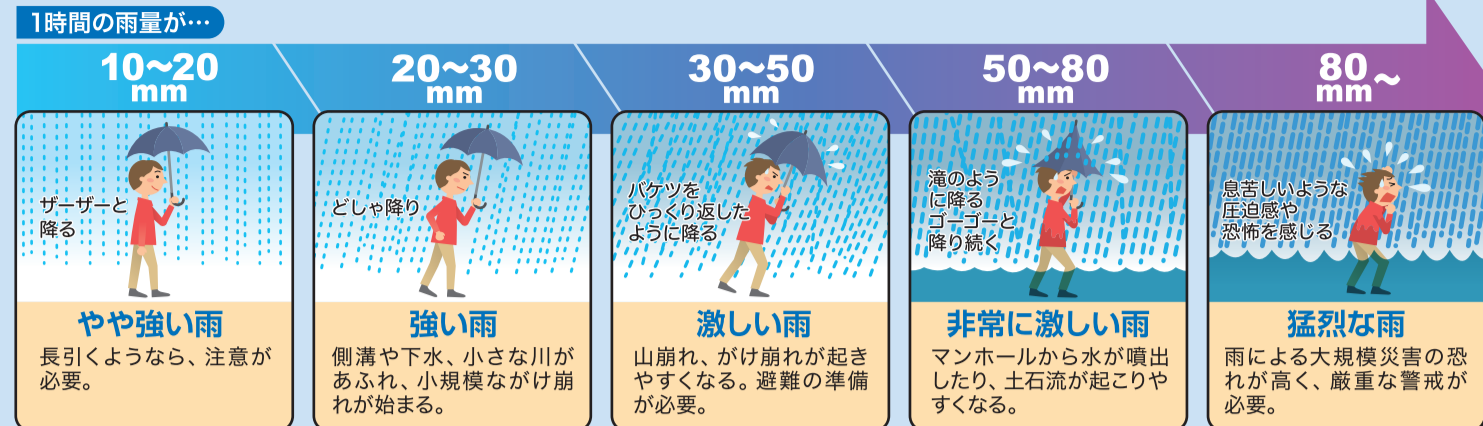
●家族の情報				
名前	電話番号	生年月日	血液型	その他 (アレルギー・持病・常備薬・主治医等)
携帯電話				
勤務先等				
携帯電話				
勤務先等				
携帯電話				
勤務先等				
携帯電話				
勤務先等				

山陽小野田市では、有帆川洪水ハザードマップの他に厚狭川洪水ハザードマップ、高瀬、津波、土砂災害、ゆれやすくなるため油ハザードマップを作成していますのでお寄せください。  
https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/soshiki/2/hazard-map.html

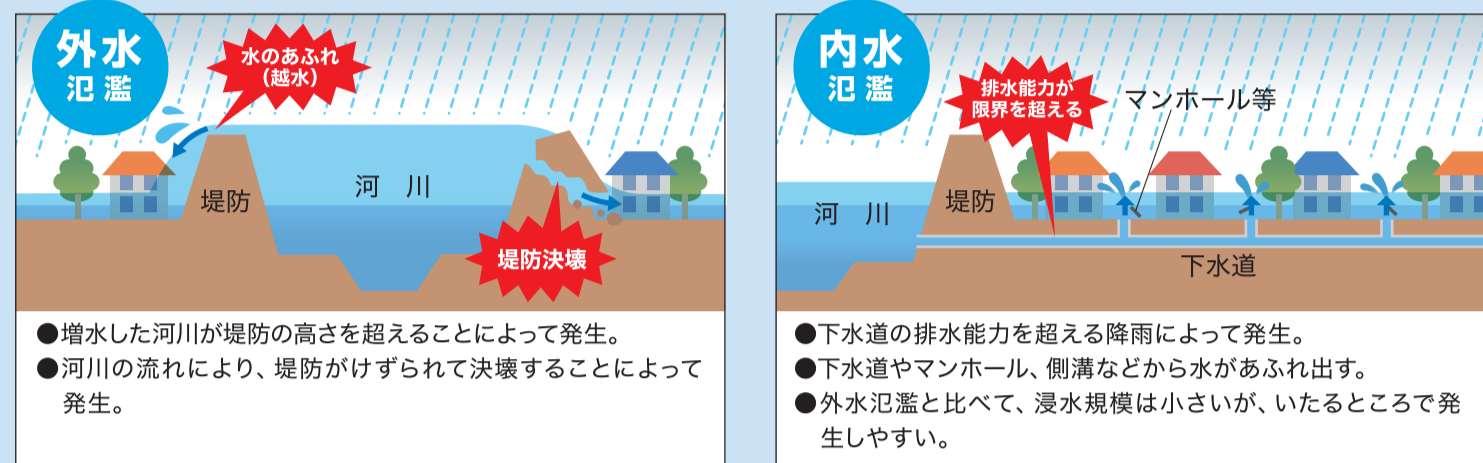
## ① 災害について知る

### 雨の降り方と想定される状況

大雨や洪水は、地震とは違い気象情報などに注意していれば、ある程度予測ができます。雨の様子や今後の気象情報などを確認し、災害に備えて早めの準備をしましょう。

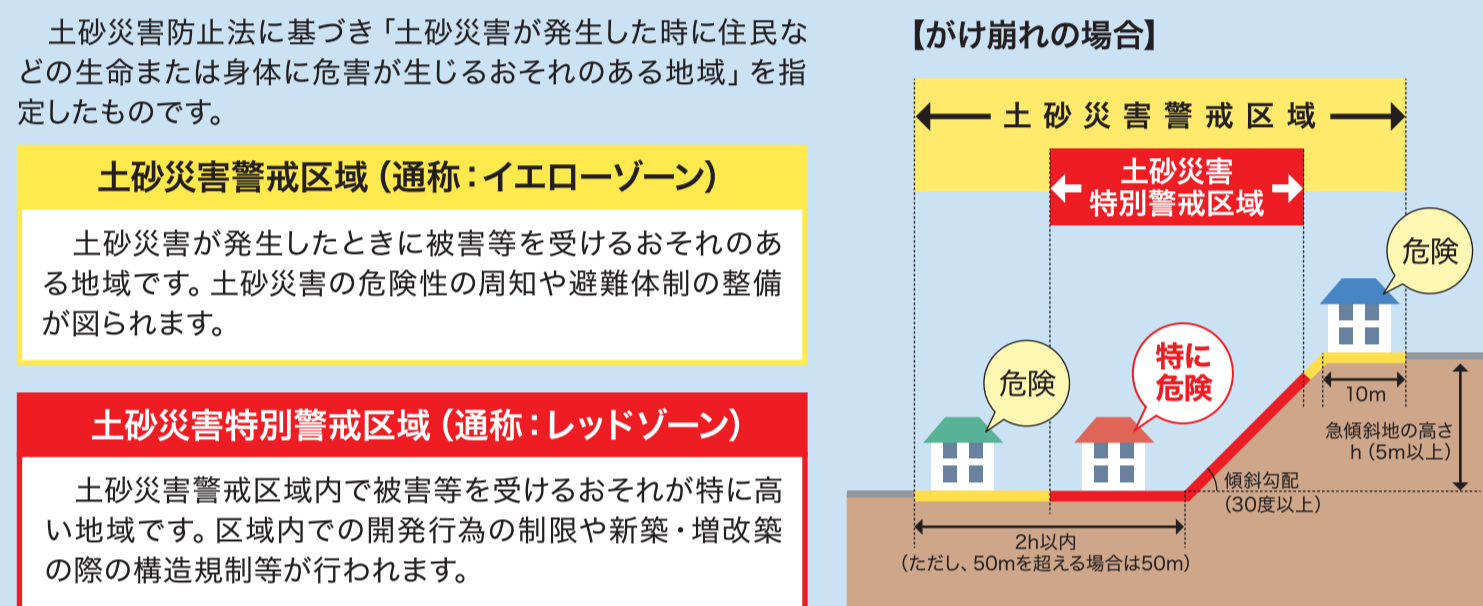


### 外水氾濫・内水氾濫の起こり方



このハザードマップは、有帆川の外水氾濫による浸水区域を想定したものであるため、中小河川の氾濫や下水道からの内水氾濫が発生した場合は、このハザードマップに示された範囲と異なる場所でも浸水する可能性があります。

### 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域



土砂災害防止法に基づき「土砂災害が発生した時に住民などの生命または身体に危害が生じるおそれのある地域」を指定したものです。

## ② いざという時どうするか考えておく

### 洪水・土砂災害（風水害）のタイムライン

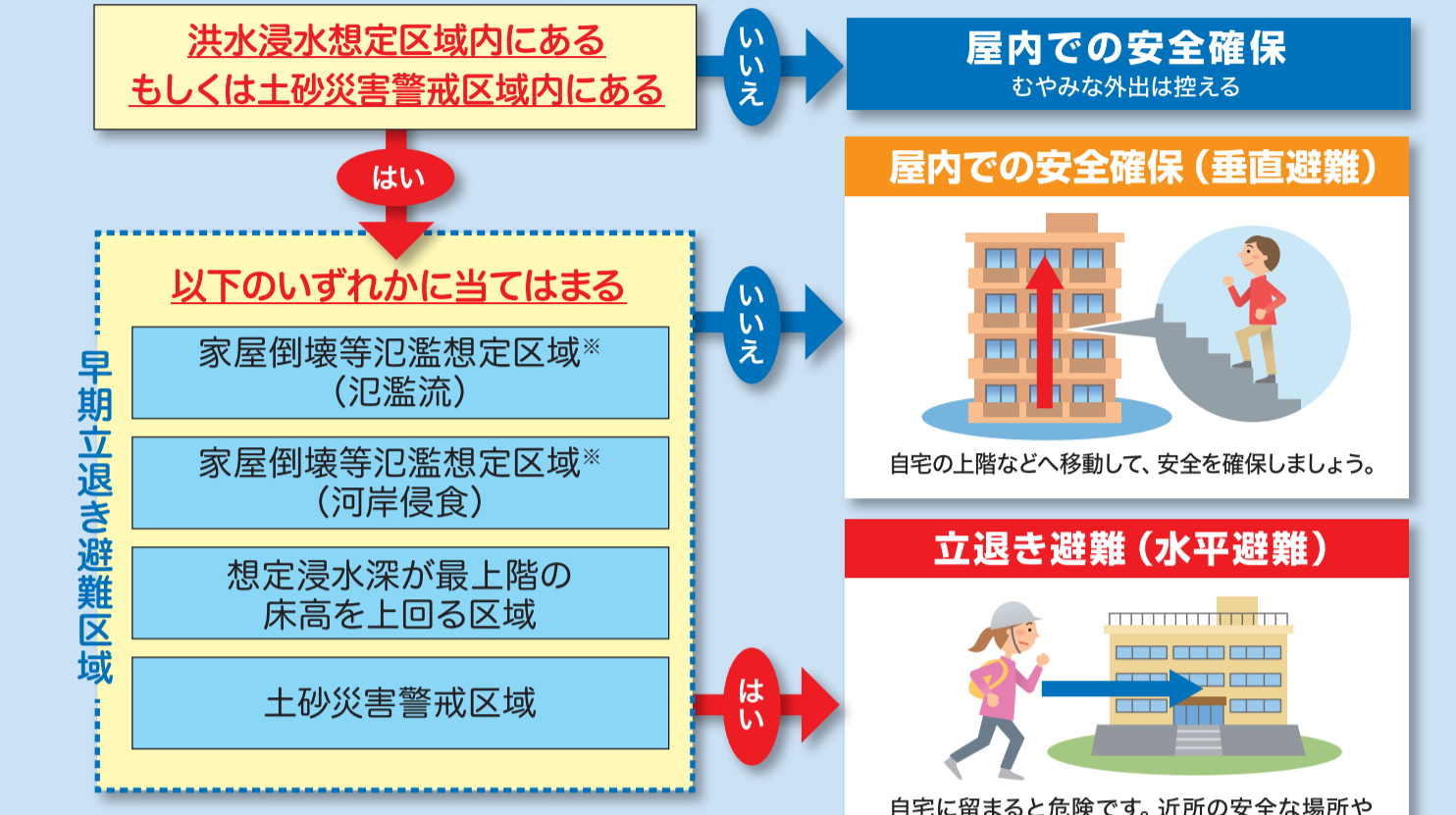
日ごろから	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
情報収集につとめましょう！	気象情報に注意しよう	避難に備えよう	避難情報 高齢者等避難 (市が発令)	避難情報 避難指示 (市が発令)	避難情報 緊急安全確保 (市が発令)
・外出前に天気予報を確認 ・最新の気象情報入手 ・雲の流れや雨の降り方など、気象状況に応じて行動する ・地域で実施している避難訓練に参加し、避難経路やいざという時の行動を事前に確認しましょう	・災害への心構えを高めよう！	・避難場所、経路の再確認 ・非常持出袋を用意	高齢者等支援の必要な方は避難を開始！ その他の方は避難の準備をし、自発的に避難する。	指定避難所等への避難を基本とする避難行動をとる。 災害が発生するおそれが極めて高い状況であり、緊急に避難する。	命を守るための最善の行動をとる。(垂直避難)
防災気象情報 (気象庁・国土省・山口県が発表)	早期注意情報 (警報級の可能性)	大雨注意報 洪水注意報	大雨・洪水警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報
「いつ」「だれが」「何をやるのか」	例) 気象情報の収集をする。避難先、持出品の再確認をする。家族と連絡をとる。	例) 避難の準備を始める。祖父・祖母をつれて〇〇へ避難する。	例) 速やかに〇〇に避難する。自宅の〇階に垂直避難する。	例) 避難を完了させる。情報収集を継続して行う。	
マイ・タイムラインを作ってみよう！	あらかじめ時系列で整理した自身の避難行動計画(マイ・タイムライン)を作ってみよう！				
		雨が強くなる前	避難行動を開始する		身の安全を確保すべき

### 避難時（洪水・土砂災害）の注意点

### 自宅や職場等の状況を確認する

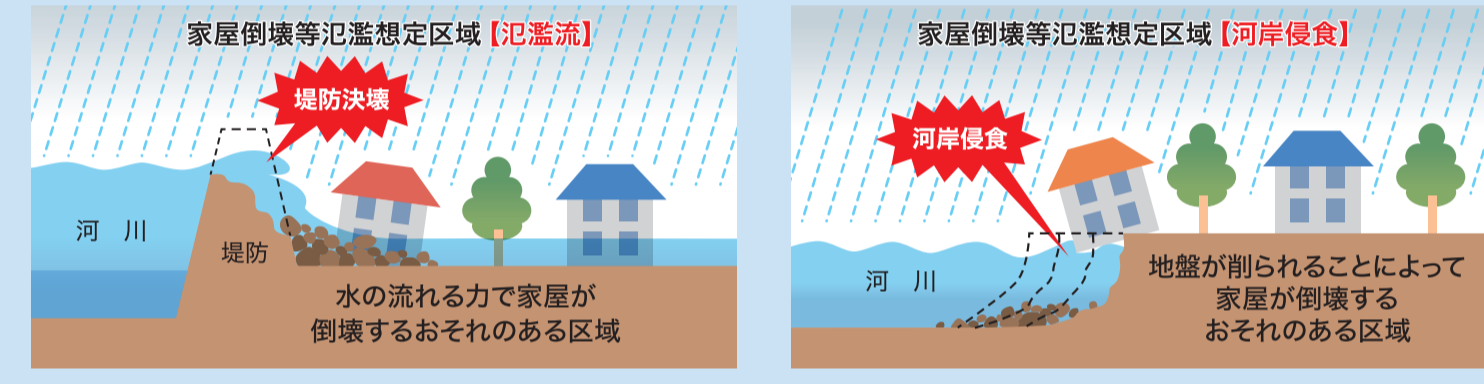
ハザードマップから自宅のリスクを知り、いざという時の避難行動につなげよう。

・わが家は土砂災害警戒区域に入っています・いません。  
・わが家の浸水想定は、 m以上  m未満です。

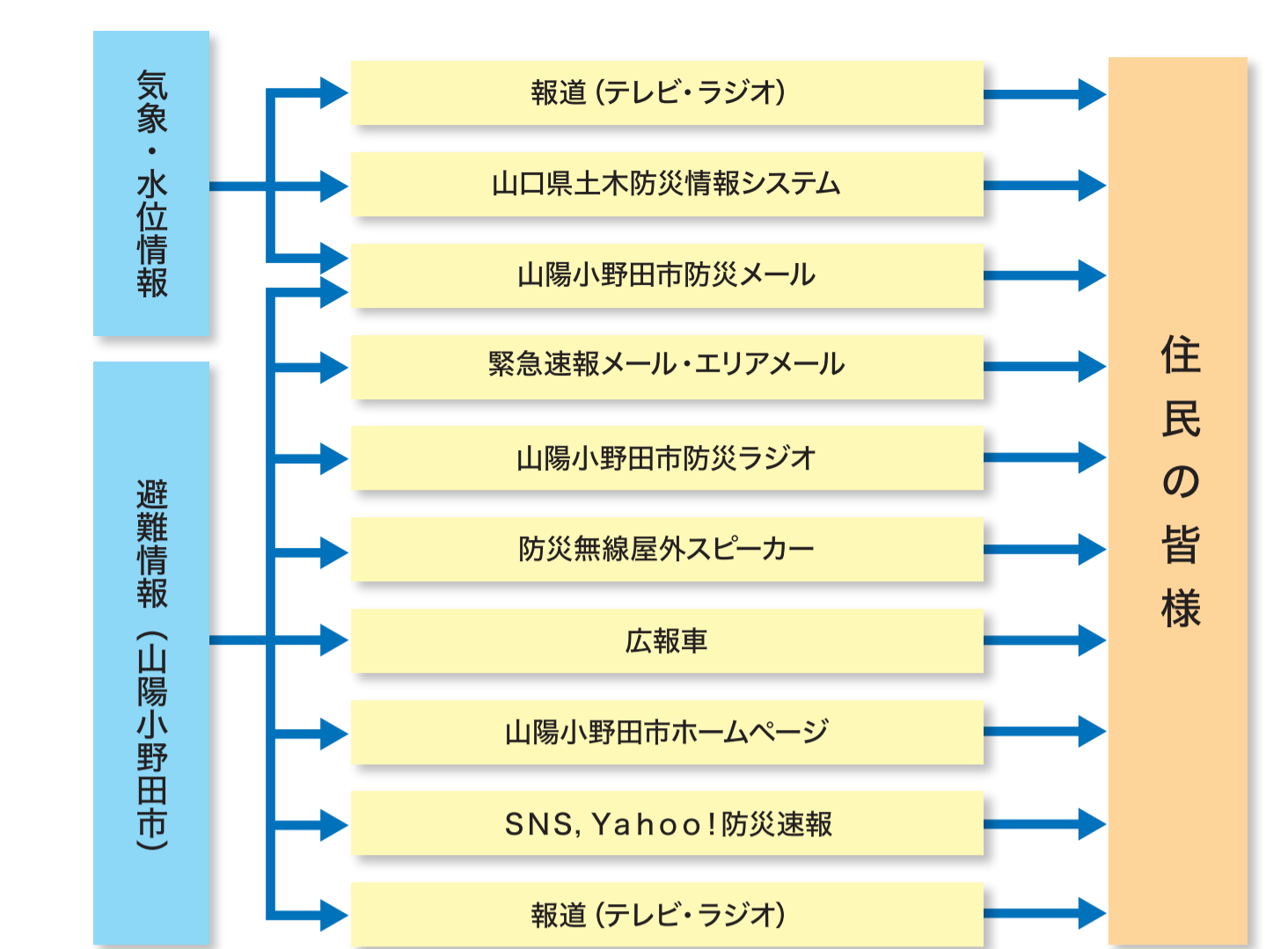


### 《避難時の注意点》

- 上記フローを参考に、ご自身の避難行動について、あらかじめ検討しておきましょう。
- すでに災害が発生している場合や、外へ出ることが危険な場合は、屋内のより安全な場所へ移動するなど、命をまもるための最善の行動をとりましょう。



## ③ 災害の情報を得る



### 雨の状況や河川水位

<b>テレビ・ラジオ</b> テレビのデータ放送からも気象情報や避難情報を確認することができます。	<b>インターネットで確認</b> ・気象庁 https://www.jma.go.jp/jma/index.html ・防災やまくち http://www.bousai.pref.yamaguchi.lg.jp ・川の防災情報 http://www.river.go.jp/kawabou/1/TopGaikyoo.do	<b>メールで受信</b> ・山陽小野田市防災情報システム (パソコン版) http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/ ・山陽小野田市防災メール (スマートフォン版) http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/sp/ ・携帯電話版 http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/
--	---	---

### 避難情報

<b>メールで受信</b> ・山陽小野田市防災メール https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/soshiki/2/mail.html ・緊急速報メール	<b>その他</b> ・防災行政無線・広報車 ・テレビ・ラジオ	<b>山陽小野田市防災ラジオ</b> 防災ラジオではラジオを聴いていない状態でも自動起動し、緊急情報を受取ることができます。 負担金2,000円
---	---------------------------------------	--

## ④ 日頃から備える

被害を軽減するために、日ごろから家屋などの周りを点検し、万全の対策を立てておきましょう。

非常持出袋 非常持出袋には両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないか、一度背負ってみましょう。

非常持出袋 (リュックサックなど) に入れておくもの	常備薬	懐中電灯
非常食	避振・印鑑・健康保険証など	乾電池・充電器類
飲料水	軍手	筆記具 (油性ペン)
タオル	着替え	
携帯トイレ	ティッシュペーパー	
貴重品・現金 (小銭を含む)	防寒具・雨具	
	携帯ラジオ	

### 備蓄品 災害時に自宅で生活するために必要なものは、日ごろから備蓄を心がけましょう。

3日分 [できれば1週間分] の食料	ガスボンベ	ロープ
缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、乾パン、チョコレート、お味噌汁、スープなど	充電器類	新聞紙
水 (大人1人当たり1日2~3リットル)	予備電池	ブルーシート
ウォータータンク	簡易トイレ	
消毒用アルコール	ナイフ	
体温計	ラップ	
	アルミホイル	
	紙コップ、紙皿、わりばし	
	ガムテープ	

